

訓練成果

	課題・問題点	対策・解決策
平常時（発災前）	大きな災害がないので住民が災害に対する意識が薄い、防災訓練で若い人の参加が少ない	防災訓練を定期的実施し防災意識を植え付ける。子供たちも含めた訓練をして防災意識を広げていく（プレゼントを用意する）
	住人のつながりが希薄	防災訓練を数回やり近所との顔見知りを作る
	防災倉庫内の物品が古いし使えないものが多い。防災倉庫の中身がわからない。	防災倉庫の中を確認して、中身を確認する。物品一覧と簡単な使い方イラストを表示し「見える化」をする。
	防災訓練の参加者が少ない	地区レク、盆踊りに防災訓練を組み込む
	地域の災害リスクがわからない。避難経路上の危険個所がわからない	まち歩きをして災害リスク、避難経路を確認する
	隣人の現状がわからない。	日頃から声掛け、挨拶をする。
	普段は留守宅が多く、連絡が取れない。	連絡網を作成する。
	外国人への支援	外国人用防災マニュアルの作成
	個々の家庭内の地震対策が実施できていない	感震ブレーカーの普及を自治会で促す（説明会の実施）
地震発災後	安否確認の方法がわからない	ハンカチを掲示する安否確認の訓練を年1回する
	地域の人員が確保できない	自主防災会内で担当を決めておく。災害時に名簿を持参して確認する。
	どう行動してよいかわからない。避難する必要があるのかわからない	平時に地震が起きた時の対応を考え計画しておく。ハザードマップで災害リスクを確認する。
	消火用資機材の使い方がわからない	消防団に教えてもらう
	家庭内の備蓄品が十分でない	回覧板で周知する
	手助けを必要としている人がわからない	要支援者マップを作成する。
	避難場所がわからない	標識・看板の設置。避難場所を回覧板で周知する
	防災無線が聞こえない	テレフォンガイドの活用
	実際の避難所運営の仕方がわからない	避難所運営の仕方を実際に経験してみる。訓練を試みる